



B5判：112P
定価：
1,429円＋税

災害時における 危険予測・回避能力 を育てる



東京学芸大学教授
渡邊 正樹 先生

文部科学省「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」座長、「学校防災マニュアル作成協力者会議」座長を務めた、防災教育のエキスパート！教科書「小学保健」（光文書院）編集委員。

新しい防災観に根差した 小学校教師必携の防災本

防災に関しては非常に多くの本が出されています。しかしその多くは学校現場で何が必要とされているかという視点が弱いように思えます。

また、東日本大震災において新たに判明した課題などもありましたので、そうしたことも盛り込んで**学校現場で使える本**を作りました。

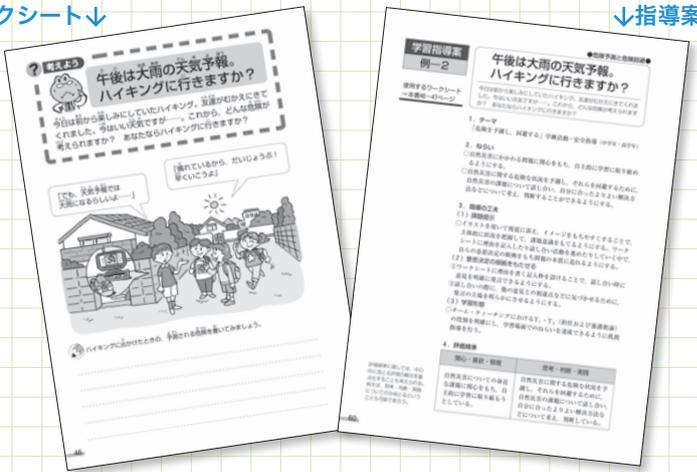
その第一の特徴は、**学校安全教育**で児童が身に付けるべき最も重要な能力とされている**危険予測・回避能力の育成に焦点を当てている**点です。従来の防災教育では、児童が教師の指示を守るということを中心に教えてきました。それはもちろん大事なことです。ただ、それだけでは不十分なのです。

例えば通学中や休日に遊びに行つたときなど、学校外で児童しかいない場合に被災するということが考えられます。その場合、教師の指示はありませんので、児童が自らのような危険があるのかを予測し、安全な行動をとらねばなりません。これからの防災教育は、子どもが

自ら考えて判断できる能力を育てるという主題を明確にして、中身を精査していかねばならないでしょう。

明日の授業にすぐ使える 学校の防災管理にも使える

第二の特徴は、児童の危険予測・回避能力育成のための**ワークシート**を示し、それを活用した**学習指導案**を提示している点です。



授業ですぐに使える具体的な教材や指導案を提供してほしい、という現場の先生方からの要望に応えました。

第三の特徴は、**教師向けに防災管理の視点からも活用できる内容を盛り込んだ**点です。学校における防災管理マニュアルの作成方法や震災時の情報収集手段などについては、「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」など、最新の学校防災の情報を取り入れました。



教師のための防災管理Q&A

大災害のときに子どもたちが自ら身を守り、命を守ることができない。それを実現するための一助として、本書を今日からの学校防災の取り組みにご活用いただければ幸いです。(談)